

大阪府北部の地震 被害調査報告(速報)

平成30年6月19日

1. 調査概要

- ・調査日 : 平成30年6月18日(月)
- ・調査位置 : 箕面市～茨木市～高槻市～枚方市(図1.1参照)
- ・調査方法 : 現地踏査(目視観察)
- ・調査者 : 大阪工業大学 工学部 都市デザイン工学科 藤本哲生
エイト日本技術開発 災害リスク研究センター、中国支社 防災保全部 黒田修一

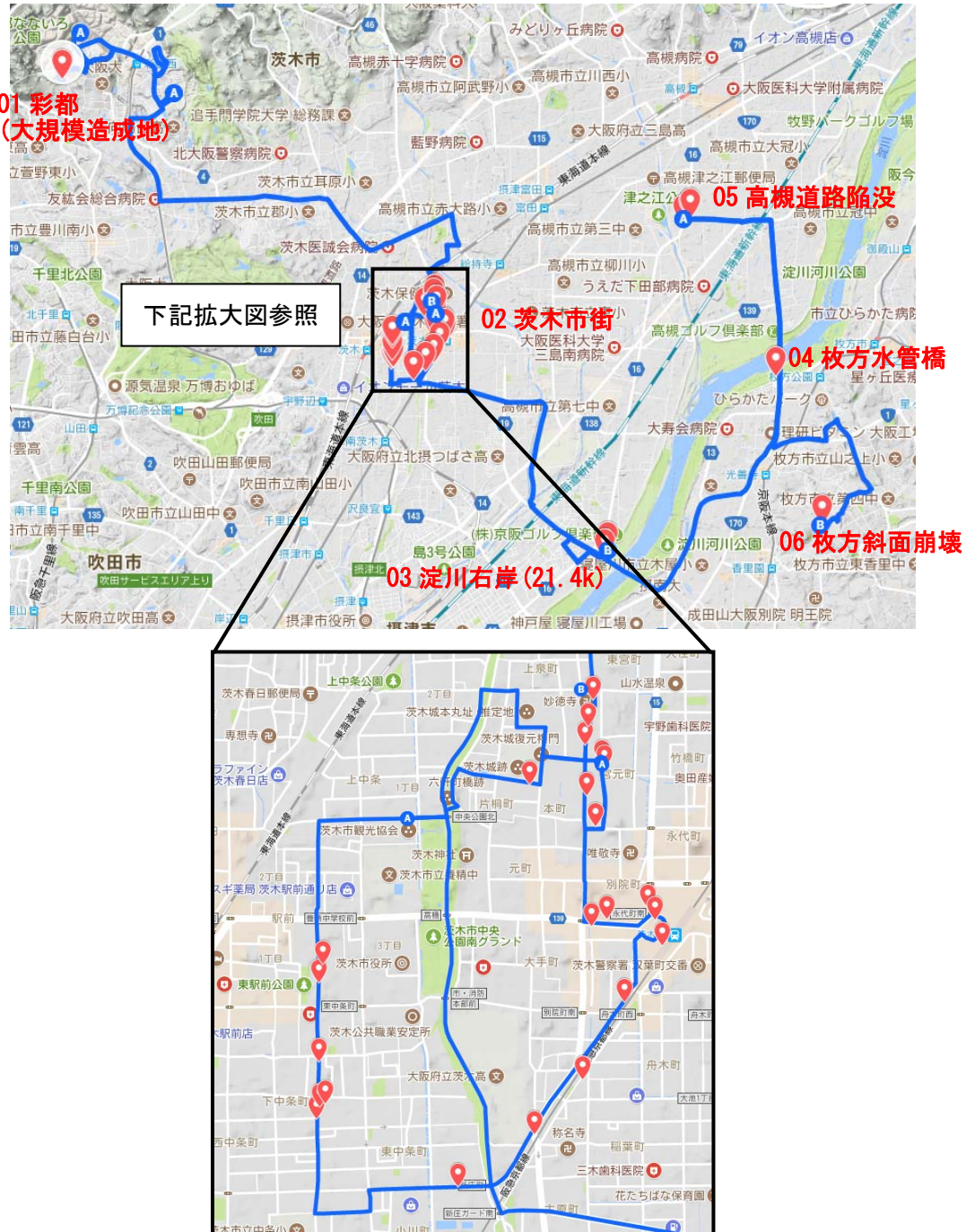


図 1.1 調査位置平面図(青線は調査経路を示す)

2. 調査結果

次頁以降に、現地踏査写真とその記事を示す。

写真 2.1(a) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：01 彩都</p> <p>写真名：大規模盛土法面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震による法面の異常は見られない
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根瓦の落下がみられる
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック塀が背面へ傾斜している

写真 2.1(b) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妙徳寺の山門が倒壊している
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外壁が前面へ傾斜している
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浄教寺の山門が倒壊している ・ 写真右上の給水塔に被害は見られない

写真 2.1(c) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根瓦の落下がみられる
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根瓦の落下がみられる
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根瓦の落下がみられる

写真 2.1(d) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷別院の建物に被害はみられない
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガラスが破損し、周囲に破片が散乱している
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：阪急茨木市駅の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道管が破裂し、周囲が水浸しになっている。

写真 2.1(e) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：阪急京都線高架橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害はみられない
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：阪急京都線高架橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害はみられない
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：茨木市立市民体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建屋に被害はみられない

写真 2.1(f) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：灯籠の倒壊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灯籠が倒壊し、その影響により側面の柵が傾斜している
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：灯籠の倒壊 (灯籠部の拡大写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灯籠が倒壊し、その影響により側面の柵が傾斜している
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック塀が倒壊している

写真 2.1(g) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：02 茨木市街</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・控壁つきのブロック塀には被害はみられない
	<p>調査箇所：03 淀川右岸 21.4k</p> <p>写真名：堤防全景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防に被害はみられない
	<p>調査箇所：03 淀川右岸 21.4k</p> <p>写真名：淀川新橋全景 (右岸側より撮影)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁に被害はみられない

写真 2.1(h) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：03 淀川右岸 21.4k</p> <p>写真名：淀川新橋右岸側 ジョイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁に被害はみられない
	<p>調査箇所：04 枚方水管橋</p> <p>写真名：水管橋全景 (左岸側より撮影)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水管橋の空気弁から水が噴き出していると報道があったが、踏査時に漏水はみられなかった
	<p>調査箇所：04 枚方水管橋</p> <p>写真名：水管橋支承部 (左岸側より撮影)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害はみられない

写真 2.1(i) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：04 枚方水管橋</p> <p>写真名：堤内側法面上の管路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害はみられない
	<p>調査箇所：04 枚方水管橋</p> <p>写真名：堤防道路上からの遠望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南方の山腹斜面に崩壊がみられる
	<p>調査箇所：05 高槻道路陥没</p> <p>写真名：復旧状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道管破裂による道路（府道）陥没箇所 ※復旧工事中


写真 2.1(j) 現地踏査写真

写 真	記 事																				
<div data-bbox="365 271 549 512"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>震界加速度 0~150 極めて高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td>震界加速度 150~200 高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td>震界加速度 200~250</td> </tr> <tr> <td></td> <td>震界加速度 250~300 やや高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td>震界加速度 300~350</td> </tr> <tr> <td></td> <td>震界加速度 350~400 低い</td> </tr> <tr> <td></td> <td>震界加速度 400~450</td> </tr> <tr> <td></td> <td>震界加速度 極めて低い(発生は局所的)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>震界加速度 極めて低い</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="349 618 571 712" style="color:red; font-size:small;"> <p>水道管破裂による道路陥没箇所 地盤情報ナビでは直下型地震で 250~300galで液状化の可能性が やや高いになっているので液状化 に伴う地盤変位で水道管接続部 の損傷が生じた可能性が高い</p> </div> <div data-bbox="572 271 1222 815"> </div>	凡例	説明		震界加速度 0~150 極めて高い		震界加速度 150~200 高い		震界加速度 200~250		震界加速度 250~300 やや高い		震界加速度 300~350		震界加速度 350~400 低い		震界加速度 400~450		震界加速度 極めて低い(発生は局所的)		震界加速度 極めて低い	
凡例	説明																				
	震界加速度 0~150 極めて高い																				
	震界加速度 150~200 高い																				
	震界加速度 200~250																				
	震界加速度 250~300 やや高い																				
	震界加速度 300~350																				
	震界加速度 350~400 低い																				
	震界加速度 400~450																				
	震界加速度 極めて低い(発生は局所的)																				
	震界加速度 極めて低い																				
	<p>調査箇所：05 高槻道路陥没</p> <p>写真名：噴砂跡？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴砂と思われる土の堆積が2か所でみられるが、水道管破裂箇所からの浸水に伴う浸水跡の可能性もある 																				
	<p>調査箇所：05 高槻道路陥没</p> <p>写真名：建築構造物の被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物外壁が破損している 																				

写真 2.1(k) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：06 枚方斜面崩壊</p> <p>写真名：斜面崩壊箇所全景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物背面の斜面が崩壊している
	<p>調査箇所：06 枚方斜面崩壊</p> <p>写真名：斜面崩壊箇所全景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生源は既設石積擁壁の上部であると思われる・
	<p>調査箇所：06 枚方斜面崩壊</p> <p>写真名：斜面崩壊箇所に隣接する露頭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斜面勾配は非常に立っており、表層は土砂化している

写真 2.1(L) 現地踏査写真

写 真	記 事
	<p>調査箇所：近畿道鶴野橋</p> <p>写真名：橋台前面盛土のクラック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震によるものかは不明であるがクラックは新しく、橋軸（NS方向）方向の揺れに伴い橋台前面の盛土部にクラックが生じたものと推測される